

2025「春号」

JAとよころ広報誌

豊火

豊頃町女性部3団体交流会での1枚（P7）

か が や き

vol.226



令和6年度 畜産物の作況

デントコーン収穫

5月上旬より播種が始まったデントコーンは、6月上旬に一部霜の被害を受け、蒔きなおしを行った圃場もありますが、その後の天候で回復し、順調に生育しました。前年度は9月まで続く猛暑のため、8月末時点で子実は黄熟期を迎えていましたが、本年度8月以降は降雨により暑さが和らいだため、同時期で糊熟期となり、9月上旬以降には絶好のタイミングで収穫を迎えることが出来ました。また、ここ数年町内においてのり面から圃場内に侵食していくガガイモの被害が多数みられ、収穫作業に影響を与えているところですが、まだ具体的な対応策が確立されていないところであります。反収は調査時において前年を上回る6.25t/10aとなりました。

牧草収穫

令和6年度の牧草は冬枯れもみられなく、6月上旬から始まった1番牧草の収穫は天候にも恵まれたため、例年以上の収量となりましたが、7月以降は干ばつと猛暑日が続いたため生育が停滞し8月上旬には草丈が伸びないまま開花期を迎えてしまったため、2番牧草の収量は少なくなりました。反収は調査時において1番牧草は前年を上回る2.05t/10a、2番牧草は前年度を下回る1.08t/10aとなりました。

生乳生産

本年度は生乳生産抑制の見直しを受け、令和5年度の生乳生産目標数量に対し1%増産の生乳生産目標数量を策定しました。飼料・燃料価格をはじめとした資材価格の高止まり、牛個体販売価格の下落などにより、引き続き厳しい状況が続く中、令和6年度の生乳生産はスタートしました。令和6年度の生乳生産は、昨年の猛暑の影響によって分娩間隔にズレが生じた影響で、5月以降は前年度を下回る状況で推移しました。また、8月以降は分娩頭数が増加したこと、昨年のような暑さにならなかったことで、10月中旬頃から生乳生産は前年度実績を上回る結果で推移しました。本町における令和6年度累計生乳出荷量は69,900トンと前年比で100.6%となり、令和6年度生乳生産目標数量対比では99.9%の生乳生産実績となりました。

乳用牛の販売動向

乳用牛市場は、育成牛・初妊牛・経産牛いずれの取引価格も前年を下回り、年間を通して厳しい取引環境が続きました。特に、酪農家による『初生オス子牛』の販売価格は依然として低迷しており、平均価格は3.1万円（前年比68.0%）と低価格で推移しました。一方で、『交雑種（F1）初生子牛』は6.9万円（前年比146.0%）と回復傾向を示しており、品種によって価格動向に明暗が分かれる結果となりました。

肉用牛の販売動向

黒毛和種素牛の市場出荷頭数は前年を上回り、1,001頭（前年比126.7%）に達しました。販売価格は、『雌』が48.3万円（前年比95.9%）、『去勢』が59.2万円（同92.5%）と、いずれもやや下落傾向が見られました。昨年度は、高温や干ばつの影響による粗飼料不足に加え、飼料価格の高止まりが肥育農家の経営を圧迫し、子牛の購入控えなど市場全体に厳しさが目立ちました。一方で、十勝管内の食肉処理工場では年間10万頭を超えると畜処理が行われ、輸出実績も堅調に推移しています。これは地域畜産に対する明るい兆しを示すものであり、将来への展望を抱かせる結果となりました。

新 人 紹 介



たか はし りゅう ま
高 橋 龍 磨

生年月日 平成13年12月

出身校 酪農学園大学

趣 味 ゲーム、映画鑑賞

所 属 畜産部 畜産課 畜産振興係

抱 負 4月から働かせていただきます。分からない事がたくさんあると思いますが、諸先輩方のお力を借りながら、1日でも早く仕事を覚えて皆様の力になれるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

平和地区	礼作別地区	二里塚地区	統内地区	下農野牛地区	農野牛地区	二宮西地区	二宮中央地区	二宮東地区	長節旅来地区	牛首別地区	茂岩南地区	幌岡地区	豊頃地区	十弗西地区	礼文内地区
原田	津久井	吉村	斉藤	山本	川原	日下	大和田	木幡	伊井田	坂口	門中	田中	今村	衣原	宝田
二次雄	直弘	修一	京介	政幸	三奈	貴弘	幸伸	豊	慎一	真也	晃嗣	亮司	典浩	国雄	哲也

令和7年度
農 事 組 合 長

防犯訓練を実施

2月20日、池田警察署より3名を講師に迎えて防災講話と簡易的な護身術についての講習を開催しました。

防災講話では、ペットボトル、ネクタイ、ズボンを使ってできる簡易うきわ、簡易リュックサックなど災害時に役立つお話をいただき、護身術では、不審者に急に掴まれた際の振りほどき方を職員同士で演習し、学びました。



組合長杯ゲートボール大会

熱戦の行方は。。。。

生き甲斐部

2月7日開催の第12回大会には30名が参加しました。

参加者は抽選により6チームに分かれ、各チーム2試合を行い得失点差で順位を決めます。いかに味方のボールを有利に進める作戦合戦が見どころですが、ときに味方同士ヒートアップするシーンも…。

参加者全員にトイレットペーパーを1人に12ロール、3位までに家庭用品を贈呈しました。

大会開催にあたりご協力いただいた協会の皆様、ありがとうございました。

＜優勝チーム＞

山崎 忠 矩 さん・嘉藤 照 夫 さん
高井 慧 子 さん・愛澤 ツ ヤ さん
目黒 和 子 さん



新年会

1月10日に十勝川温泉富士ホテルにおいて開催した新年会は、部員21名が宿泊し、懇親を深めました。

ビンゴゲーム1位の青木和男さんはフライパンセットを獲得し、翌朝ホテルから買い物に行く予定からご帰宅に変更し、さっそく奥様に景品を贈呈した旨のご報告をいただきました。2次会用に設けた隣接した会場には宿泊部員全員が参加し、また、1次会から引き続き山口良一組合長が参席し、盃を交わしながら互いの近況報告に花が咲きました。



令和6年度 第47回豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会

2月25日、令和6年度第47回豊頃町加工馬鈴薯生産組合通常総会を開催しました。議案第1号 令和6年度事業報告等に始まり、議案第5号 役員改選について、全5議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。令和6年度の事業報告では年間の経過報告のほか、組合活動において7年ぶりに管外視察研修を行い、令和7年度に向けて更なる生産技術向上と作付面積の維持・増反を図りながら関係機関との連携のもと組合運営を行うとの報告がされました。

総会終了後はカルビーポテト(株)より栽培技術講習会を行いました。



豊頃町加工馬鈴薯 生産組合

組合長	松	崎	哲	也
副会長	半	谷	聡	伸
理事	川	口	知	紘
理事	吉	村	友	輔
理事	宝	田	哲	也
理事	米	田	圭	一

令和6年度 第47回豊頃町麦作振興会通常総会

2月18日、令和6年度第47回麦作振興会総会を開催しました。議案第1号 令和6年度事業報告等に始まり、議案第3号 令和7年度会費の徴収について、全3議案を審議し、全議案賛成多数で可決しました。

原田二次雄会長は冒頭「今年度は収量があったが、販売価格が上らず生産者にとって実入りの少ない年になったと思う。次年度は価格改定があるので辛抱の年になるかもしれないが、引き続き頑張っていたきたい。」と述べました。

総会終了後は十勝農業改良普及センターより令和6年度の振り返りと令和7年度に向けての講習を行いました。



すみれ部会 スポーツ交流会新年会

1月10日、農協2階大会議室ですみれ部会（部会長 愛澤悦子）のスポーツ交流会・新年会を行いました。株式会社AOILO（あおいろ）梶山氏・高橋氏を講師に招き、部員21名がモルックを体験しました。5チームに分かれてチーム対抗戦を行い優勝したチームに景品を用意しました。昨年に引き続きのモルックで皆さんカンを取り戻したのか好ゲームが続出。大いに盛り上がりました。

その後昼食を兼ねてビンゴ大会を行い、新しい1年を楽しく迎えることができました。



ミセス部会・フレッシュミズ部会 合同スポーツ交流会

初の試みになります、ミセス部会・フレッシュミズ部会合同スポーツ交流会を、12月12日豊頃町総合体育館でモルック大会を開催しました。だんだん部員数が減少している中、フレミズさんを誘って楽しく体を動かそうという企画で開催が決まりました。

ミセス部会24名、フレッシュミズ部会5名と多くの部員が参加しました。チーム対抗にし上位3チームと最下位に豪華景品を用意しました。全員がモルック初体験。株式会社AOILOから2名の講師の指導のもと着々と技術を上げて大いに盛り上がりました。



豊頃町女性部3団体交流会

2月24日、豊頃町農協・漁協・商工会の女性部との交流会が行われました。毎年恒例となっております交流会。今回は45名の参加で、満寿屋の杉山社長と馬淵シェフを招いてピザ作りを行いました。

ピザ窯をえる夢館まで運んでいただき、生地から作った『豊頃の恵たっぷりピザ』と、満寿屋さんが用意してくれた、甘く煮詰めたリンゴとさつまいものフルーツピザの2種類を作りました。子供たちには、焼き窯にピザを入れる体験ができ恐る恐るピザを窯に入れてました。2・3分程度でピザが焼き上がりアツアツのピザを食べました。



佐藤嘉香部長は冒頭「今年度より、町のバス利用が各部会活動で使用出来ることになり活動の範囲が広がりました。また、物価等が高騰していることもありバスの利用が大変助かりました。部員のみなさまには女性部活動にご協力、ご理解いただき心より感謝しております。」と述べ、按田町長・山口組合長より祝辞をいただきました。

議長には、茂岩地区の山本陽子さん・二宮地区藤井裕子さんが選出され議事に入りました。

令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

総会終了後に新旧役員の挨拶があり、新部長になった豊頃地区相澤賀南子さんは、「不慣れな点がありますが、皆さんと共に楽しく参加しやすい部会活動にしたいです。また前役員の方にも引き続きご指導・ご協力をお願いします。」と述べました。

令和7年度の新役員体制は以下の通りです。

定期総会

3月7日、農協本所大会議室において第70回JA豊頃町女性部定期総会を開催しました。

役員7名、代議員42名、来賓5名に出席していただきました。

新役員体制

部 長	相 澤	賀南子	(新)
副 部 長	按 田	成 子	(新)
副 部 長	永 原	希 美	(新)
監 事	永 原	い と	(新)
監 事	森	たみ子	(新)

すみれ部会

部 会 長	加 藤	京 子	(新)
副部会長	坂 口	立 子	(新)

ミセス部会

部 会 長	安 藤	千 里	(新)
副部会長	按 田	亜希子	(新)

フレッシュミズ部会

部 会 長	坂 口	かな恵	(新)
副部会長	遠 藤	麻 美	(新)

第13回 女性フェスティバル

1月30日、2年に1度の大きなイベント。女性フェスティバルを大会議室で行いました。コロナ禍になって今までとは違う形でフェスティバルを盛り上げようと色々と考え、今回のテーマ『美と健康のためのセルフケア』で皆さんの体の不調を少しでも改善できればとの思いで、鍼灸師志戸田先生を講師に招き、自宅でもできるストレッチ、自分でも貼れる鍼などを教えてもらいました。膝の不調や腰の不調を訴える部員さんが多くいて講座が終わってから先生に質問したり、自分で貼れる鍼を購入し貼り方を聞いたり大変勉強になりました。

また、同時に作品展示とフリーマーケットを行いました。フリーマーケットでは、お手頃価格になっており、1点を購入希望者でじゃんけんをしたりと販売する部員、購入する部員とが楽しく交流を深めていました。これからも新しいことにチャレンジをし女性部を盛り上げていきたいと考えています。



北海道枝肉共励会黒毛和牛の部で 武隈BFが最優秀



11月30日、帯広市で北海道枝肉共励会黒毛和牛の部が開催され、道内各地から139頭が出品されました。その中で武隈ブリーディングファーム出品の枝肉が見事最優秀賞に輝きました。

12月12日には武隈英和氏がJA豊頃町を訪問し、組合長と専務に結果を報告しました。川口専務から「レベルの高い枝肉が140頭ほど集まる中で最優秀に選ばれたことは本当にすごいこと。」とコメントがあり、武隈氏は「全国に出品しても上位入賞を狙えるくらい品質のいい肉だった。」と語りました。



冬期講習会及びスポーツ交流会を開催

1月29日、青年部冬期講習会・スポーツ交流会を開催しました。

今回の講習会は「農政学習会」と題し、講師に中央会帯広支所より鹿俣氏を招き、農政活動の重要性を学びました。普段聞き馴染みのない農政活動の話に部員一同耳を傾けていました。



講習会後のスポーツ交流会では、初の試みとしてeスポーツ大会を開催。任天堂Switchのソフトで対戦を行い、白熱した試合が展開されました。

その後、帯広市内の山の猿にて懇親会とビンゴ大会を行い、部員同士の絆を深め大いに盛り上がりしました。

青年部道外研修へ！

2月3日から6日にかけて、道外研修を実施しました。井下慎吾さんを団長に、按田将利さん、松崎稜弥さんの3名が、熊本県の銚益崎牧場、エム・エス・ケー農業機械株式会社、福岡県の竹下農園株式会社を視察研修しました。

1日目の銚益崎牧場では意見交換を交えながら牛舎など施設見学をし、2日目の竹下農園では施設見学の他、代表の竹下さんからコミュニケーションに関する話を伺うなど、大変実りある研修になりました。

道中は大きなトラブルもなく、無事に6日の夕方頃に帰着しました。



あずき茶の完成挨拶に町長を訪問



3月10日、農協青年部役員4名はあずき茶の完成を報告に按田武町長を訪問しました。

今回制作したあずき茶の原料は青年部員が協力し、収穫したサヤから選り分けたものを使用しており、その時の苦労話を交えながら、完成したあずき茶を試飲。

「とよころ」の頭文字をとった、かるた風のデザインで町をPRするこだわりのパッケージや、今後の展望についてなどを話し合いました。

青年部が制作したあずき茶はココロコや、とよころ物産直売所など豊頃町内各所で販売する予定です。お見かけした際にはぜひ手に取ってみてください。

定期総会

3月6日、農協本所大会議室において第56回JA豊頃町青年部定期総会を開催しました。

川口部長の開会挨拶につづき、按田町長、山口組合長、十勝農業改良普及センター 笹村支所長、十勝地区農青協議会 児玉副会長より祝辞を賜りました。

議長に旅来地区より伊井田拓実さんを選出し議事に移り、令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度部費の賦課方法、事業計画・収支予算案、役員改選の全議案を賛成多数で可決しました。

川口部長は冒頭「本年度はJA十勝青年部大会で優秀な成績を収めることができた。この成績を収められたのも日頃よりお世話になっている周囲の皆様、関係機関の皆様のおかげ。心より感謝している。」と述べました。

令和7年度の役員体制は以下の通りです。



新役員体制

部 長	村 上 剛 丸	(前副部長)
副 部 長	井 下 慎 吾	(前書記長)
書 記 長	加 島 知 典	(前畜産部会長)
畜産部会長	門 伸 洋	(新任)
畑作部会長	岡 光 祐 樹	(新任)
監 事	武 内 創	(再任)
監 事	川 口 知 紘	(前部長)

鈴木直道知事らが武隈ブリーディングファームを訪問 『ナオミチカフェ』

『ナオミチカフェ』は道の施策へ反映することを目的に、道知事が市町村長や地域づくりの実践者を訪問します。

1月20日は株式会社武隈ブリーディングファームにおいて鈴木直道北海道知事、野口正浩十勝振興局長が按田武町長と武隈英和代表を訪れ、和牛の振興を目的に採卵室や哺乳・育成舎を視察しました。

その後、牛首別会館における意見交換では、武隈代表は「帯広農業高校などは『和牛生産』のカリキュラムを導入し、和牛甲子園にチャレンジなどさらに若い担い手を育成する取り組みが始まった。農業全体を始め畜産の情勢が厳しい中、令和9年に十勝で開催する全国共進会に向け北海道がトップになるべく



生産者は努力を続けている。開催会場以外においても全国から40万人が十勝に来訪し必ず活性化する。札幌方面など十勝のイベントを知ってほしい。また、『生産現場に活力を』の実践のため、毎年の北海道和牛共進会の開催の際はぜひ足を運び、生産者にエールを送ってほしい。」と要望しました。鈴木知事は「関係者だけではなく、消費者である道民の皆さまに生産者の思いや共進会等のイベントをもっと認知していただくことが大切であり盛り上げたい。道もいろんなご意見を頂きながら発信していきたい。」と応じました。

農 畜 産 物 取 扱 実 績

小 麦

	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	前年対比
作付面積	ha	1,268	1,323	104%
粗原重量	トン	8,745	9,324	107%
粗原単収	俵	11.49	11.74	102%
製品重量	トン	8,345	8,945	107%
製品単収	俵	10.97	11.26	103%

馬 鈴 薯

	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	前年対比
＜澱原用＞				
受入重量	トン	13,265	12,128	91%
平均ライマン	%	18.2	19.7	108%
＜種 子＞				
受入数量	俵	36,417	39,169	108%
＜食 用＞				
受入数量	トン	49	37	76%
＜加工用＞				
受入数量	トン	18,459	18,459	100%

甜 菜

	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	前年対比
作付面積	ha	415	354	85%
受入重量	トン	27,032	26,464	98%
平均糖分	%	12.5	15.4	123%

豆 類

	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	前年対比
一般大豆	俵	21,925	21,523	98%
光黒大豆	俵	185	391	211%
普通小豆	俵	23,902	26,768	112%
金 時	俵	2,947	3,201	109%
手 亡	俵	6,226	9,587	154%

生 乳

(期間 3月～2月)

	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	前年対比
出荷乳量	トン	69,824	69,560	100%

ホクレン十勝地区家畜市場 新築移転工事竣工式

3月27日十勝地区家畜市場新築移転竣工式が行われました。ホクレンや農業団体関係者およそ100名が出席し、施設の安全操業を祈願しました。

現在の家畜市場の老朽化と取引頭数の増加に伴い平成29年より新築移転を進めていた。

新市場は4月8日の和牛市場から運用開始となります。





退職のご挨拶 水上 清美

みなさまの支えのおかげで、本年3月末をもちまして定年退職いたしました。長きに亘り、仕事の機会・社会人としての学びの機会を与えてくれましたJA豊頃町と組合員各位に深く感謝いたしております。

私が就職しました昭和62年には営農戸数が450有りましたが、平成・令和とまたいだ現在では1/3以下の150を切るまでに減少しております。この間、GATTウルグアイラウンド(WTO)・FTA・TPP等による農畜産物の関税率引き下げ、中東やウクライナ情勢、温暖化へ進む気候変動など劇的な環境の変化が起こり続けているのにもかかわらず、健全なる営農を続けておられます組合員各位には多大なる敬意を表する次第です。

私にとって定年退職は、当組合に就職して以来の人生の大きな転機となりますが、仕事を通じて多くの方々から学ばせて頂いた貴重な経験をこれからの人生に活かして参りたく存じます。

最後になりましたが、組合と組合員各位のさらなる発展と、皆様のご多幸をお祈りして、退職のあいさつに代えさせていただきます。長い間、ありがとうございました。



献血功劳の表彰



献血バスによる移動採血など長年にわたり献血に協力したとして、日本赤十字社より献血功劳の表彰を受けました。

伝達式において町献血推進協議会会長の按田武町長から金色有功章と表彰盾を受け取りました。当組合における活動は昭和55年頃に始まり、中断期間があったものの今日まで活動継続年数36年、協力回数136回、職員や地域住民の献血者述べ4,261人です。

今後も年間3回本所前に献血バスを設置しますで引き続き皆様の献血のご協力をおねがいします。

編集後記

少しずつ暖かくなり、春らしくなってきました。

4月から新入職員が入り、初々しさを感じるとともに自分自身も初心にかえり、気を引き締めなおして1年頑張れたらと思います。

組合員の皆様におかれましては、何かと忙しくなる季節かと思いますが引き続き農作業事故防止に努めていただきたくお願い申し上げます。

企画係 T.M

